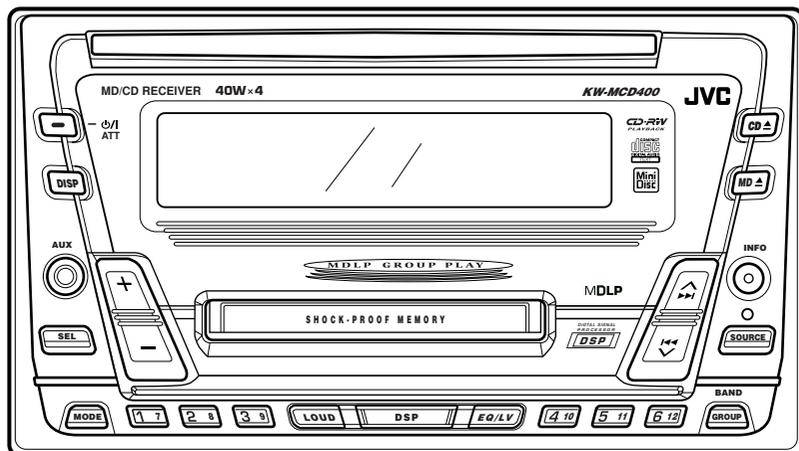


JVC

取扱説明書

MD/CDレシーバー

型名 KW-MCD400 ブラック ホワイト /-B/-W



MDLP



— お買い上げありがとうございます —

! ご使用の前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意	3～5	・リピート演奏	25
●使用上のご注意	6～7	・ランダム演奏	25
●各部の名前	8～9	・イントロスキャン	25
●基本操作	10～11	・CD演奏中の表示内容を変える	25
・時計を合わせる	11	●他の機器の音を聞く	26
●ラジオを聞く	12～15	・CDチェンジャー端子を使うとき	26
・放送局を選ぶ	12	・フロントAUX端子を使うとき	26
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	12	●SELボタンの使いかた	27～32
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	13	・表示窓のデモ表示を解除する	28
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	13	・電源「切」のとき時計を表示させる	28
・道路交通情報を聞く	14	・MULTI LINK機能を使う	29
・スキャン選局	14	・表示窓の明るさを変える	29
・放送受信中の表示内容を変える	15	・放送局名を自動で表示させる	30
・表示窓のデモ表示について	15	・表示窓のコントラストを調節する	30
●MDを聞く	16～19	・文字表示のモードを変える	31
・長時間ステレオ再生について	16	・CD-CHのソース(音源)を変える	31
・グループ機能について	17	・フロントAUXの感度を上げる	32
・ダイレクト演奏	17	●レベルメーターの切換え	33
・リピート演奏	18	●文字の入力のしかた	34～35
・ランダム演奏	18	・文字の入力と修正・削除	34
・イントロスキャン	18	・文字配列表	35
・MD演奏中の表示内容を変える	19	●音量・音質の調節	36～37
・MDを取り出す	19	・EQの使いかた	37
・MDの盗難防止	19	・EQのメモリー内容を変える	37
●CDを聞く	20～23	●DSPの使いかた	38～39
・CD-R/CD-RWディスクについて	21	●放送局名一覧	40～43
・ダイレクト演奏	21	●故障かな?と思う前に	44～45
・リピート演奏	22	・こんな表示のときは	45
・ランダム演奏	22	●保証とアフターサービス	46
・イントロスキャン	22	●主な仕様	47
・CD演奏中の表示内容を変える	23	●お手入れ	裏表紙
・CDを取り出す	23		
・CDの盗難防止	23		
●CDチェンジャーのCDを聞く	24～25		
・全曲演奏	24		
・数字ボタンでCDを選ぶ	24		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

 **注意**

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



指をはさまれないよう注意

- ・けがの原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CD/MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCD/MDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機は^{ビティール}BTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因になります。

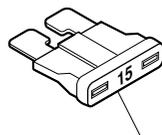
*BTL：Balanced Transformerlessの略

^{バランスド} 2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



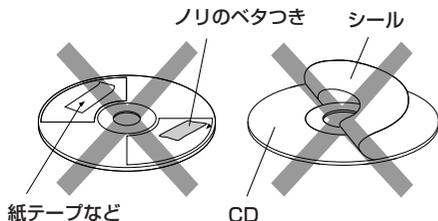
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

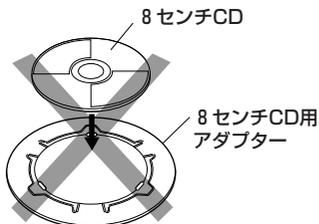
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります



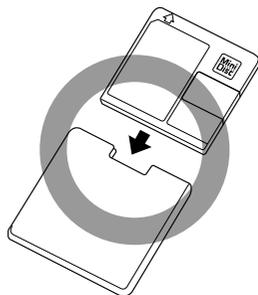
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

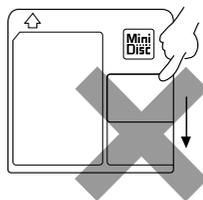
MDの取扱いについて

- MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。
MDが変形すると、故障の原因となります。

- MDのシャッターについて



MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

- MDにラベルを張ってお使いになる場合
ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。
- 長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

- 定期的にお手入れを

MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

ディスプレイ
DISPボタン 15 19 23 34

インフォメーション
INFOボタン* 14

道路交通情報を聞く
とき使います。

電源の「入」↔「切」が
できます。
ATTネーター
電源/ATTボタン 10

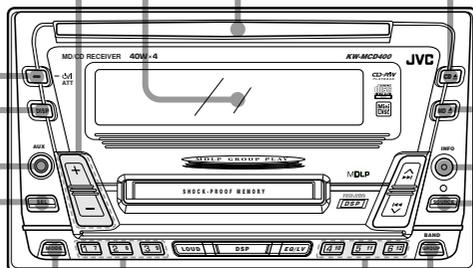
CD▲(取出し)ボタン 23

音量調節や各種の設定が
できます。
音量調節や各種の設定が
できます。

MD▲(取出し)
ボタン 19

表示窓(ディスプレイ)

CD挿入口 20



モード
MODEボタン

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

- ・「ラジオ」のとき: 12 14
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき: 17 18 21 22 25

「ラジオ」のとき	「MD」のとき
バンド BAND ボタン 12	グループ GROUP ボタン 17

セレクト
SELボタン

音量・音質調節のモードが選べます。36
2秒以上押しすと、時計合わせなどの各
種設定モードになります。11 27

数字ボタン

- ・「ラジオ」のとき:
1~6が機能します。13
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき:
1~12が機能します。17 21 24

エーユーエックス
フロントAUX端子 26

ソース
SOURCEボタン* 10

聞きたいソース(音源)を選ぶことができます。

ラジオ → CD → MD → CD-CH*2

↑ AUX ↓

*1 本機にCD/MDが入っているときのみ

*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

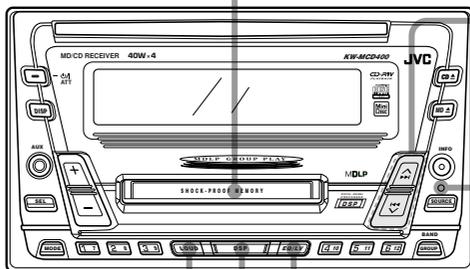
*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(∨、∧)

ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「MD」「CD」 「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻し ができます。 16 20 24	放送局を選局するとき使いま す(オート選局/マニュアル選 局)。 12

MD挿入口 **16**



ラウドネス
LOUDボタン **36**

ディーエスピー
DSPボタン **38**
DSPのモードにするとき使います。

イコライザー レベルメーター
EQ/LVボタン

CEQの各モードを呼び出すとき使います。**37**
もう一度押しすと、レベルメーターの切換えができます。**33**

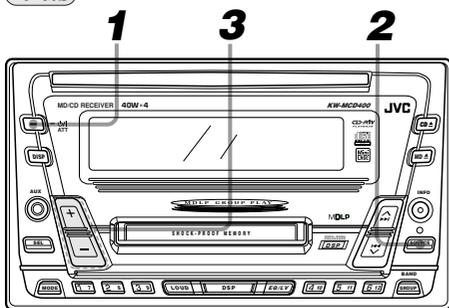
リセットボタン

内蔵のマイコンをリセット
するとき使います。

- ・初めて電源を入れたとき
- ・どのボタンを押しても動
作しなくなったとき

基本操作

準備 ●車のエンジンをかける。



1 電源(電源)/ATTボタンを押して電源を入れる



・「HELLO！」が表示され、電源を切る前のソース(音源) …お買い上げ時はラジオ (FM1) …が表示されます。

2 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ



	ソース(音源)	参照ページ
ラジオ	FMまたはAM放送 (BANDボタンでバンドが選べます)	12
↓ CD*1	CDの演奏	20
↓ MD*1	MDの演奏	16
↓ CD-CH*2	CDチェンジャー内のCDの演奏	24
↓ AUX	他の機器の音	26

* 1 本機にCDおよびMDが入っているときのみ
* 2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

●このボタンは、ソース切換機能のほか
に電源を「入」にすることもできます。

3 +、- (音量) ボタンで音量を調節する



・調節範囲
VOLUME 00 ~ VOLUME 50
(初期設定 VOLUME 15)

●音量を一時的に下げる
電源(電源)/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



電源(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

●1秒以上押す。

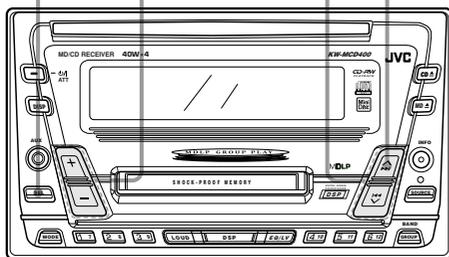
＜お知らせ＞

- 「CD-CH」は、CD-CHのソース(音源)を外
部入力に切換えると「LINE INPUT」になり
ます。➡31ページ参照
- CD▲またはMD▲(取出し)ボタンは、電
源「切」のときも操作できますがソース(音
源)は切りかわりません。
- 音量・音質の調節は36～37ページをご覧ください。

時計を合わせる

1・4 3.1・3.3

2 3.2



1 SELボタンを2秒以上押す

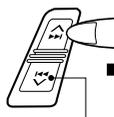


- ・お買い上げ時は「PSM」表示のあと「DEMO」が表示されます。
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

2 ▶▶ (または◀◀) ボタンを数回押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



→ CLOCK HOUR

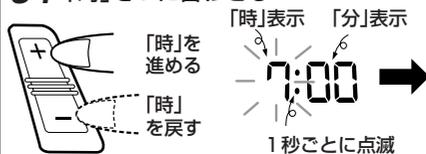
逆に進べます。

15秒以内に

3 +、- (音量) ボタンと▶▶ ボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
(12時間表示方式です)

3.1 「時」を7に合わせる



3.2 「CLOCK MIN」を選び...



3.3 「分」を30に合わせる



15秒以内に

4 SELボタンを押す

- ・元のソース (音源) の表示に戻ります。
- SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース (音源) の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- 時刻合わせのとき、+、- (音量) ボタンを押し続けると連続して変わります。
- 電源「切」のときも時計を表示させたいときは、28ページをご覧ください。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、27~29ページをご覧ください。

ラジオを聞く

1 SOURCEボタンでソース(音源)を「ラジオ」にし、BANDボタンでバンドを選ぶ



- 放送局を選ぶ

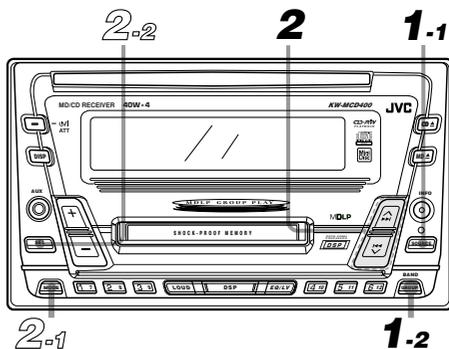
2 選局ボタン(▲または▼)を押して選局する



- オート選局：「ポン」と押して離す。(シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局：1秒以上押して「M」を表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

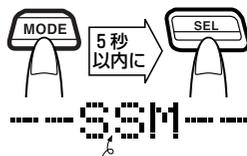
〈お知らせ〉

- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送はFM ①またはFM ②、AM放送は① AMまたは② AMが表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。



- 放送局を自動でメモリー(記憶)させる—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 MODEボタンで「SSM」を選び、SELボタンを押す



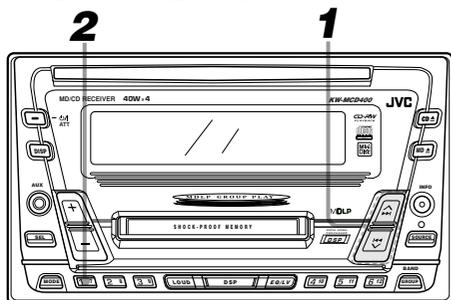
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの①⑦～⑥⑧にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン①⑦に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は消えます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くとときは、プリセット選局が利用できます。→⑬ページ参照

放送局を選んでメモリー(記憶)させる

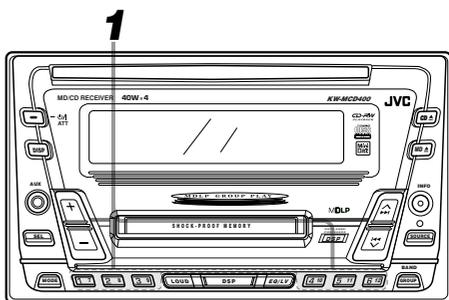
SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。

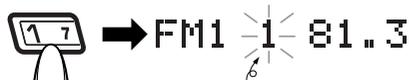


1

 選局ボタン(▲または▼)でFM81.3MHzを選局する

→⑫ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2

 数字ボタンの **1 7** を2秒以上押す


・2秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅すると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

1

 数字ボタン(1~6)を押して選局する

(プリセット選局といいます)



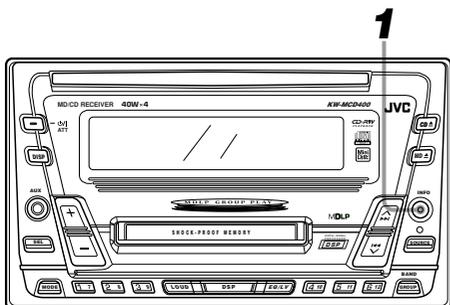
- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
(数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください)

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度放送局や時計を設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



1 INFOボタンを押す



INFO 1620

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合のみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のときは、あらかじめINFOボタンにメモリーし直しておくくと便利です。

スキャン選局

MODEボタンを2回押すと、「SCAN」が表示されSELボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。



放送を受信するごとにその周波数が点滅表示され、約5秒間聞くことができます。聞きたい放送局のときはもう一度、MODEボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送を継続して聞くことができます。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO ON」に切換えます。



- MODEボタンを3回押して「MONO」を表示させSELボタンを押す。

表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が悪くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると表示窓に「ST」が表示されます。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



*「放送局名を自動で表示させる」の操作(⇒[20](#)ページ参照)をすると表示されます。する前は「NO NAME」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、「オートアンテナ」コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ」にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。「CDチェンジャー」や「CD」、「MD」などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。
(「オートアンテナ」の最大コントロール電流は250mAです)

表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間*無音状態が続くと「DEMO」表示のあとイルカの表示などのデモ表示を行います。

デモ表示の例



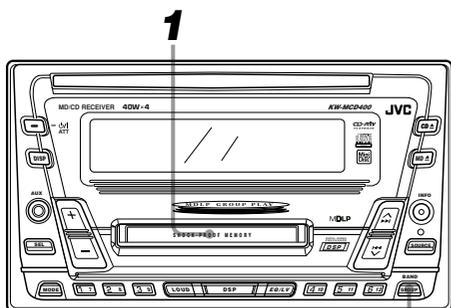
*一定時間とは：

- 初めて電源を入れたあと 10 秒以上何もしないとき(リセットボタンを押したあとも含む)
- 入力信号なし(ソースを「AUX」にしている場合など)で何もしない状態が 3 分以上続いたとき

〈お知らせ〉

- いずれかのボタンを押すと、デモ表示は一時停止します。
- デモ表示を出なくするときは[20](#)ページの「表示窓のデモ表示を解除する」をご覧ください。

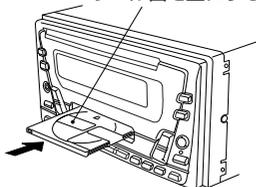
MDを聞く



GROUPボタン

1 MDを入れる⇒ソース(音源)が「MD」になり演奏がスタート

ラベル面を上にする



01 00' 05"

曲番号

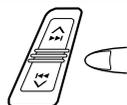
演奏経過時間

・MDが入っていることを表すが表示されます。ソース(音源)を表すが表示されます。

- MD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。
- 「--- PLAY」表示中は、MDのデータを読み込んでいます。終わると演奏がスタートします。
- グループ分けされているMDを入れるとが表示されます。

〈お知らせ〉

- モノラル2倍長録音したMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- データ用MDについて
データ用MDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。



曲の頭出し
(スキップ)

- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
- ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・
早戻し
(サーチ)

- ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
 - ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。
- 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

長時間ステレオ再生について

本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC 3で録音済みのMDの場合、LP 4モードは最長320分、LP 2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP 2またはLP 4で録音したMDを演奏すると、表示窓にLP 2またはLP 4が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SP(標準)モードで再生できません(SPの表示はありません)。

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向を表すやの表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。(途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

グループ機能について



表示窓に「GROUP」が表示されます。

MDLPで長時間ステレオ録音した曲を、CDごとやアーティストごとなどいくつかのまとまり(グループ)に分けて利用することを、グループ機能といいます。

グループ1	グループ2	グループ3
曲番号	曲番号	曲番号
1 2 3	4 5 6	7 8

●聞きたいグループを選ぶ

グループスキップ



5秒以内に



次のグループの頭へ
今のグループの頭へ

●選んだグループの1曲目から聞くことができます。

ダイレクトグループ選択



5秒以内に

●数字ボタン(1 7 ~ 6 12)でダイレクトにグループを選びます。

- グループ1～6を選ぶ：
GROUPボタンを押したあと 1 7 ~ 6 12 のいずれかを「ポン」と押す。
- グループ7～12を選ぶ：
GROUPボタンを押したあと 1 7 ~ 6 12 を1秒以上押す。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

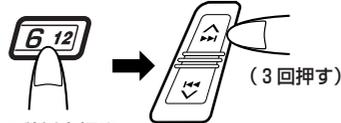


- 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき



- 13曲目以上は
▶▶I ボタンを併用します。

例：15曲目



- 1秒以上押す。

またMODEボタンと▶▶I(またはI◀◀)ボタンを使うと、前後10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りMDのとき



5秒以内に

01 → 10 → 20 → 30 → 32

- MODEボタンを押すと +10 ◀と ◀-10 が表示され ◀◀10と◀◀10が点滅表示されます。
- MODEボタンを押したあと▶▶Iボタンを押すと、◀◀10表示が点灯になりこのような頭出しができます。I◀◀ボタンを押すと、◀◀10表示が点灯になり逆に選べます。

＜お知らせ＞

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ▶▶Iボタン(またはI◀◀ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

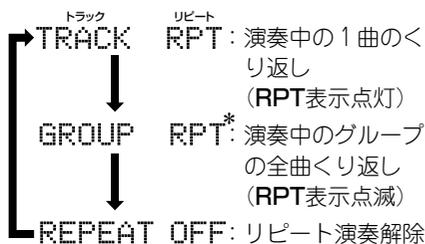
MDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「REPEAT」を表示させる。
SELボタンを押すごとに次のように動作します。



*グループ分けされているMDに限り表示されます。

ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを3回押して「RANDOM」を表示させる。
SELボタンを押すごとに次のように動作します。



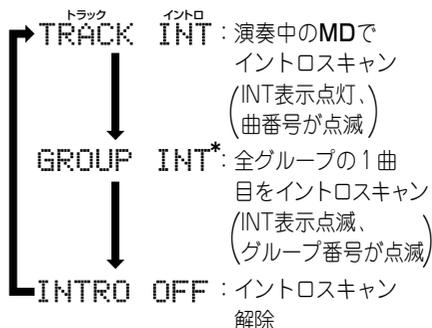
*グループ分けされているMDに限り表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させる。
SELボタンを押すごとに次のように動作します。



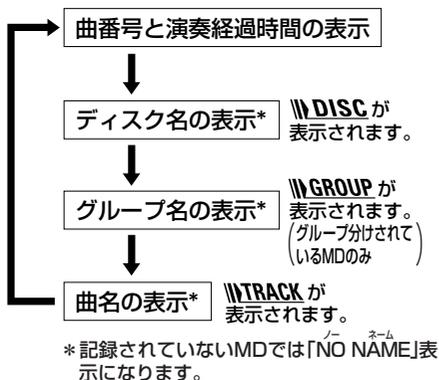
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

*グループ分けされているMDに限り表示されます。

MD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



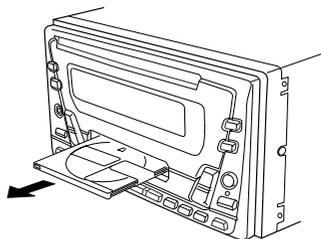
〈お知らせ〉

- ディスク名やグループ名、曲名はアルファベットやカナでスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。また曲名がスクロール表示されるとき、曲番号も表示されます。グループ名がスクロール表示されるとき、グループ番号(G01など)も表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。→ 31 ページ参照
- 文字表示については、英数字・カナなどの半角文字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。

MDを取り出す



MD▲(取出し)ボタンを押します。「EJECT」が表示され、MDが出てきます。MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。

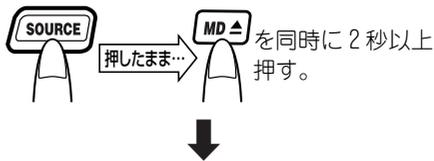


〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもMDは取り出せます。この場合、MDが出てきたあと電源が切れます。

MDの盗難防止

MDを他の人が取り出せないようにすることができます。

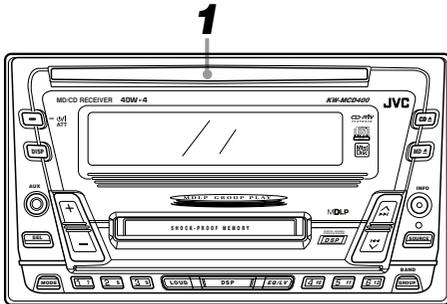


- 「MD」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が表示され、MDが出てきます。

〈お知らせ〉

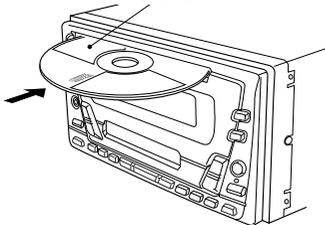
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDを聞く



1 CDを入れる⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート

文字のある面を上にする



・途中まで入れると自動で引き込まれます。

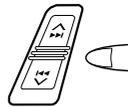
01 00' 05"

曲番号

演奏経過時間

- ・「— PLAY」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると曲数と演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。ソース(音源)を表すが表示されます。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



曲の頭出し
(スキップ)

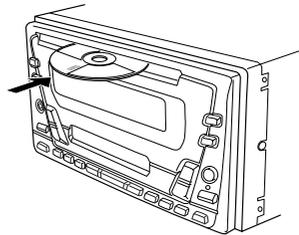
- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
- ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・
早戻し
(サーチ)

- ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
 - ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。
- 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



〈お知らせ〉

- 文字のある面に  または 、、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字に限り対応しております。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。
- MP3には対応しておりません。

CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



- ・ 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
- ・ 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。

例：3曲目のとき



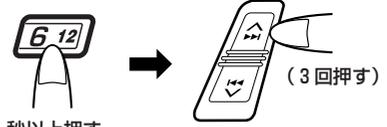
例：12曲目のとき



・ 1秒以上押す。

- ・ 13曲目以上は
▶▶Iボタンを併用します。

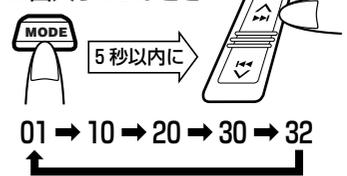
例：15曲目



・ 1秒以上押す。

またMODEボタンと▶▶I(またはI◀◀)ボタンを使うと、前後10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りCDのとき



- ・ MODEボタンを押すと +10◀と▼-10が表示され◀▶と◀▶が点滅表示されます。
- ・ MODEボタンを押したあと▶▶Iボタンを押すと、◀▶表示が点灯になりこのような頭出しができます。I◀◀ボタンを押すと、◀▶表示が点灯になり逆に選べます。

＜お知らせ＞

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ▶▶Iボタン(またはI◀◀ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けずに押してください。

CDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「REPEAT」を表示させ、SELボタンを押す。

TRACK RPT

- 表示窓に「RPT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「REPEAT OFF」が表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させ、SELボタンを押す。

TRACK INT

- 表示窓に「INT」が表示され、イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。
- 途中でイントロスキャンを解除するときは、もう一度同じ操作をします。「INTRO OFF」が表示されます。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを3回押して「RANDOM」を表示させ、SELボタンを押す。

DISC RND

- 表示窓に「RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「RANDOM OFF」が表示されます。

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



*記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。

〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。
→ ④ ページ参照
- 文字表示については、半角英数字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。

ご注意

- CDの取り出しができないときは
万一、CDの取り出しができないときは

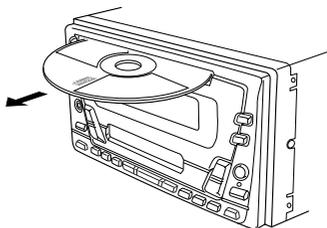


- CDが出てきますので落とさないよう、ご注意ください。

CDを取り出す



CD▲(取出し)ボタンを押すと、CDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておく、) 15秒後に自動で中に引き込まれます

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと電源が切れます。

CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができません。



- 「CD」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDが出てきます。

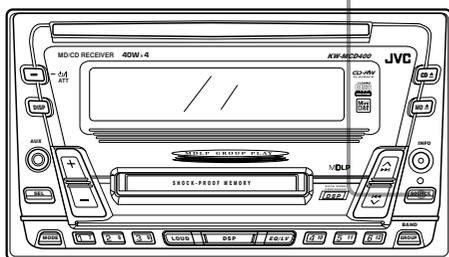
〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDチェンジャーのCDを聞く

- 準備** • CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「CD-CH」にする
→演奏スタート



ラジオ → CD* → MD*
↑ ↓
AUX ← CD-CH

*本機にCDやMDが入っていると
きのみ

01 00' 05"

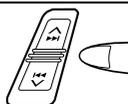
曲番号

演奏経過時間

- ソース(音源)を表す **CD-CH** が表示されます。
- CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDからの演奏がスタートします。
:
- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

• 演奏を途中でやめる

SOURCEボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。
または電源を「切」にします。



曲の頭出し
(スキップ)

- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・早戻し
(サーチ)

- ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。
演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



- 1～6 枚目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例 : 3 枚目のとき
- 7～12枚目
数字ボタンを1秒以上押します。
例 : 12枚目のとき



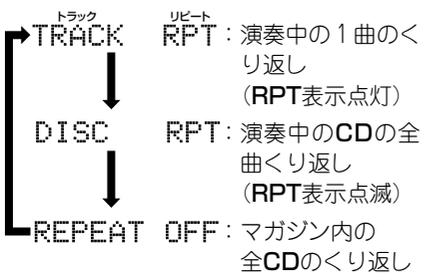
• 1秒以上押す。

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- ・「REPET」を表示させる。
SELボタンを押すごとに次のように動作します。

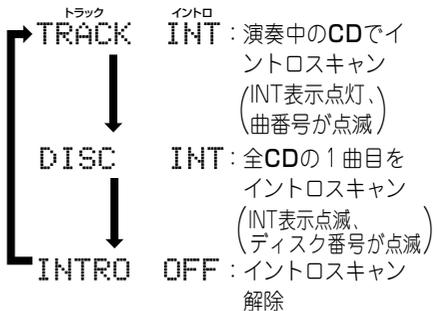


イントロスキップ

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



- ・MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。
SELボタンを押すごとに次のように動作します。

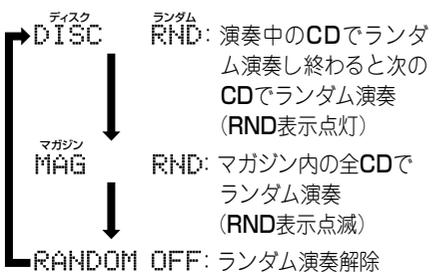


ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。

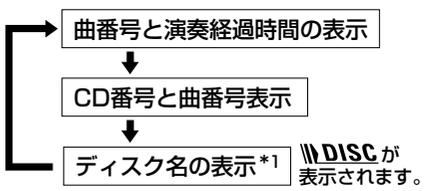


- ・MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。
SELボタンを押すごとに次のように動作します。



CD演奏中の表示内容を変える

DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



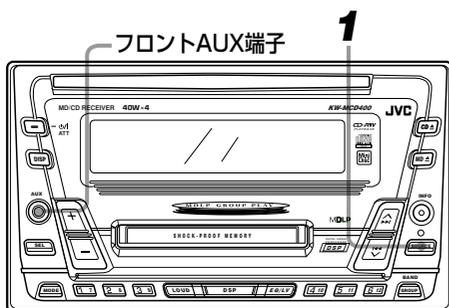
*1 ディスク名が記録されていないと、「NO NAME」が表示されそのあと「曲番号と演奏経過時間の表示」に変わります。

他の機器の音を聞く

CDチェンジャー端子を使うとき

準備

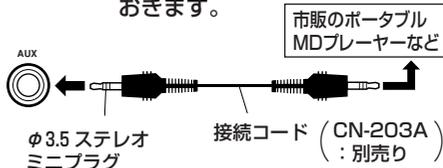
- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
- CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」に切換えておきます。
→31ページ参照



フロントAUX端子を使うとき

準備

- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



市販のポータブルMDプレーヤーなど

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「EXT(ライン入力)」にする



* 本機にCDやMDが入っているときのみに

- ・表示窓が「LINE INPUT」表示に変わります。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「AUX」にする



* 本機にCDやMDが入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているときのみ

- ・表示窓が「AUX INPUT」表示に変わります。ソース(音源)を表す「AUX」が表示されます。

2 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・フロントAUXの音が小さいときは、SELボタンを使って「AUX ADJ」を選び入力感度を調節します。→32ページ参照

<お知らせ>

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、LINE INPUTがご利用になれます。

SELボタンの使いかた(つづき)

表示窓のデモ表示を解除する

表示窓のデモ表示を出なくすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「デモDEMO」を選ぶ

3 +、- (音量)ボタンの一側を押して「DEMO OFF」にする



- ・通常は「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。
- ・「DEMO ON」に戻るときは、+側を押します。

「OFF」にするとき

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- SELボタンを使った各種の設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。

電源「切」のとき時計を表示させる

本機を電源「切」にしたとき、表示窓に時計を表示させることができます。

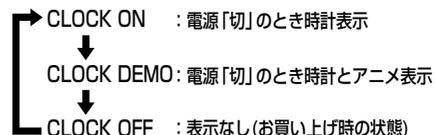
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「クロックCLOCK ディスプレイDISP」を選ぶ

3 +、- (音量)ボタンの一側を押して「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」にする



- ・「オン」にすると表示窓やボタンの照明も「オン」のままになります。
- ・一側を押すと逆に選べます。



4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 車のエンジンキーが「オフ」でも、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」に設定しないでください。バッテリーを消耗する原因となります。
- 「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」に設定するときは、**リモート出力**コードを車両のオートアンテナには接続しないでください。

MULTI LINK機能を使う

各ソース(音源)ごとにお好みの音質で聞くことができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ►►(または◄◄)ボタンを数回押して「MULTI LINK」を選ぶ
マルチ リンク

3 +、-(音量)ボタンの+側を押して「LINK ON」にする



- ・「オン」になると、各ソース(音源)ごとにDSPおよびEQをプリセットすることができます。お買い上げ時は、各ソース(音源)ともDSP : Defeat, EQ : USERになっています。
- ・「MULTI LINK OFF」に戻すときは、一側を押します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

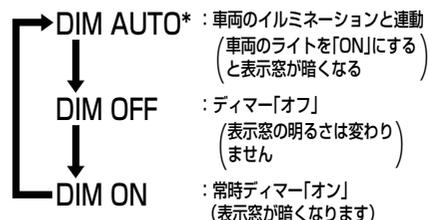
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ►►(または◄◄)ボタンを数回押して「DIMMER」を選ぶ
ディマー

3 +、-(音量)ボタンを押してディマーのモードを選ぶ



- ・一側を押すと逆に選べます。



*「DIM AUTO」で使うときは、本機の イルミネーション コードを車両のイルミ電源に接続しておきます。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

SELボタンの使いかた(つづき)

放送局名を自動で表示させる

ご利用になる地域の放送局を受信したとき、自動で放送局名を表示させることができます。

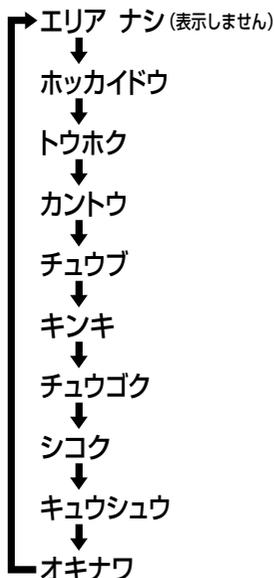
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「Station Set」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してご利用の地域を選ぶ



・一側を押すと、逆を選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

表示窓のコントラストを調節する

表示窓の表示が見にくいときは、コントラストを調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「CONTRAST 5」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してコントラストを調節する



上げる
とき
下げる
とき

・「CONTRAST 1～10」の範囲で調節できます。
運転席が表示窓がよく見えるように調節します。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 地域ごとの「放送局名一覧」は40～43ページをご覧ください。

文字表示のモードを変える

表示窓の文字表示がスクロール表示される時のモードを変えることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「SCROLL」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してスクロールのモードを選ぶ



・一側を押すと逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 放送局名は、スクロール表示されません。

CD-CHのソース(音源)を変える

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「LINE INPUT」に切換えます。

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「CD-CH」のままでは、この操作はできません。

2 SELボタンを2秒以上押す

3 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「EXT INPUT」を選ぶ

4 +、- (音量) ボタンの+側を押して「LINE INPUT」にする



・「CD CHANGER」に戻すときは、一側を押します。

チェンジャー
CD CHANGER : CDチェンジャーをつないだとき
↓
LINE INPUT : 他の機器をつないだとき

5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

SELボタンの使いかた(つづき)

フロントAUXの入力感度を上げる

フロントAUX端子の入力感度を調節することができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「エーユーエックスAUX ADJアジャスト」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンの+側を押して入力感度を調節する



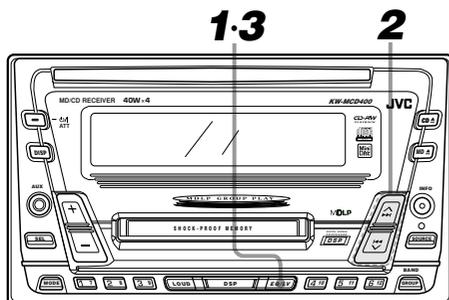
- ・ A. ADJ 00 ~ A. ADJ 05 の範囲で調節できます。
- ・ 入力感度を下げるときは-側を押します。

4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)の表示に戻ります。

レベルメーターの切換え

レベルメーターの表示内容を切換える



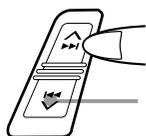
1 EQ/LVボタンを2回押して
レベルメーター
「L.V.METER」を選ぶ



・お買い上げ時は「ALL DEMO」になっております。

15秒以内に

2 ▶▶ (または◀◀) ボタンを押して表示内容を切換える



逆を選んでみます。



15秒以内に

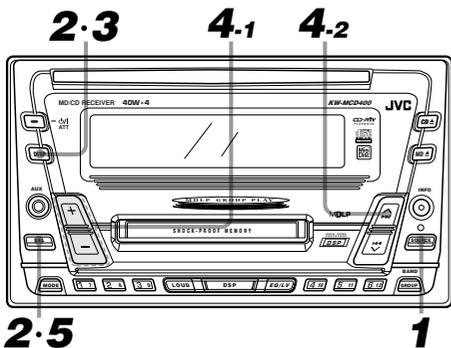
3 EQ/LVボタンを押す

・EQ/LVボタンを押さないときは、15秒後に自動で元のソース(音源)の表示に戻ります。

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

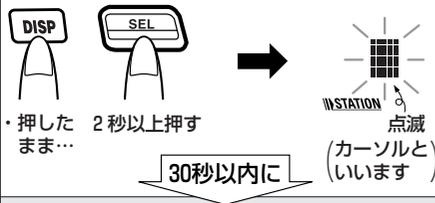
放送局名を32局分／最大10文字、AUXは10文字まで入力できます。



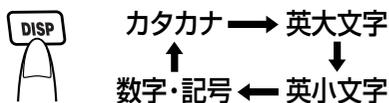
1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」または「AUX」にする

2 DISPボタンを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ

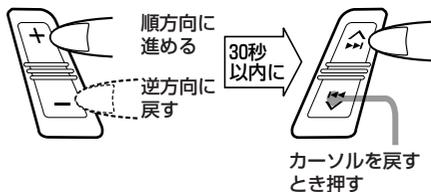


・カーソルと文字の種類の手前文字が交互に点滅表示されます。
文字の種類については⑧ページの「文字記列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 +、- (音量) ボタンと▶▶▶ ボタンで局名を入力する

(①と②をくり返す)



①文字を選び… ②カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、◀◀◀ ボタンでカーソルを戻し+、- (音量) ボタンで正しい文字を上書きします。スペース(空白)を選んで▶▶▶ ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・「AUX INPUT」表示を別の名前に変更するときは、上書きで修正します。

5 SELボタンを押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。このあとSELボタンを押して確定します。

〈お知らせ〉

- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
ー	。`	、	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

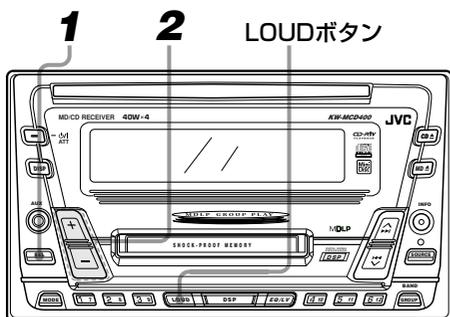
●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	’	()	*	
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 放送局名の中で・(中黒)とα(アルファ)は、入力できません。

音量・音質の調節



● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
VOLUME(音量)	15	00~50
BASS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TREBLE(高音)	00(フラット)	-06~+06
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア R06 ~ フロント F06
BAL(バランス)	00(センター)	レフト L06 ~ ライト R06

1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。

BASS → TREBLE
↑
VOLUME ← BAL ← FADER

・音量調節(VOLUME)のみのときは、+、- (音量) ボタン直接押して調節します。

5秒以内に

2 +、- (音量) ボタンを押して音量・音質を調節する



VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BASS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TREBLE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FADER (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

● ラウドネスコントロールについて



LOUD ON : ラウドネス「オン」

LOUD OFF : ラウドネス「オフ」
(お買い上げ時の設定)

・押すと現在の設定が表示され、さらに押すごとに「オン→オフ」が選べます。

ラウドネス「オン」に設定すると、表示窓に **LOUD** が表示されます。小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。

〈お知らせ〉

- ・フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- ・調節したレベルが表示窓に表示されます。

EQの使いかた

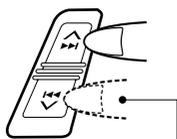
お聞きになる音楽のジャンルに合わせてEQ (イコライザー)のモードを選びます。

1 EQ/LVボタンを押して「CEQ」を選ぶ



- ・「EQ」が表示されたあと、設定されているEQのモード(お買い上げ時は「USER」)が表示されます。

2 ▶▶(または◀◀)ボタンでEQのモードを選ぶ



逆にも選べます。



3 EQ/LVボタンを2回押す

- EQ/LVボタンを押さないときは、5秒後に自動で元のソース(音源)の表示に戻ります。

EQのメモリー内容を変える

EQの各モードは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ラジオ、MDまたはCD、CDチェンジャーなどから選びます。

2 EQ/LVボタンを押したあと▶▶(または◀◀)ボタンでいずれかのモードを選ぶ

- ・USER～JAZZのいずれかが選べます。

3 SELボタンを押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

- ・現在のレベルが表示されます。

4 +、-(音量)ボタンで音質を調節する



- ・手順3と4をくり返して「BASS」と「TREBLE」を調節します。
- ・ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、LOUDボタンを使います。

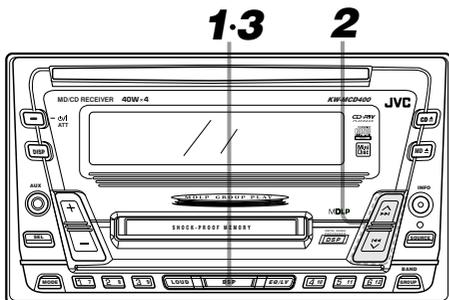
- 調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルがメモリーされます。

＜お知らせ＞

- MULTI LINK機能の設定を「ON」または「OFF」に変えると、EQのメモリー内容がリセットされお買い上げ時の状態に戻ります。→29ページ参照
- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時ラウドネス「オン」に設定されております。

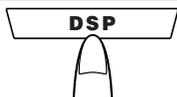
DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ5つの音場がメモリーされています。
- ・ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選べば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。



●音場の呼び出し

1 DSPボタンを押す



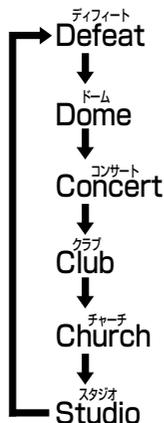
- ・DSPが表示され、設定されているDSP(お買い上げ時は「Default」)が表示されます。

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを押して音場を選ぶ



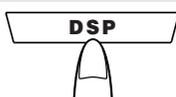
逆に選べます。

- ・Dome~Studioを選ぶと **DSP** が表示されます。



5秒以内に

3 DSPボタンを押す



→ ソース(音源)の表示に戻ります。

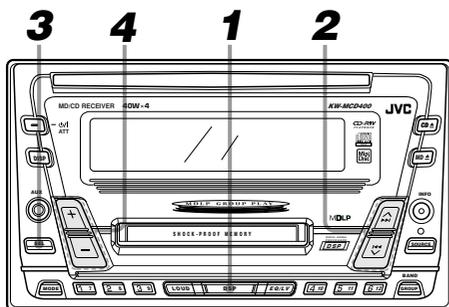
- ・DSPボタンを押さないときは、5秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 各音場はこんな音楽の再生に使います。
- ・Dome : ドーム球場などのライブ盤
- ・Concert : コンサートのライブ盤など
- ・Club : ヘビメタルやロックバンドの演奏など
- ・Church : バロック音楽など
- ・Studio : 録音スタジオでのライブ盤など

リスニングポジションの設定

聞く位置に合わせてリスニングポジションを選ぶことにより、DSPの効果が改善されま
す。



1 DSPボタンを押す



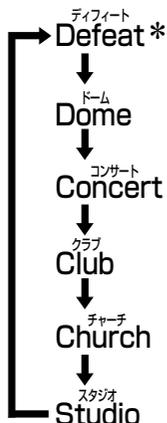
・DSPが表示され、設定されているDSP
(お買い上げ時は「Defeat」)が表示されます。

2 >>>I(またはI<<<)ボタンを押して音場(Dome~Studio)を選ぶ



逆を選べます。

*Defeatを選んだときは、リスニングポジションを設定することはできません。



5秒以内に

3 SELボタンを押してフォーカスのモードにする



・お買い上げ時は
ALL SEATが表示されます。
SEAT表示(手順4参照)が点滅します。

5秒以内に

4 +、- (音量)ボタンでリスニングポジションを選ぶ



逆を選べます。



<お知らせ>

●リセットボタンを押すと、「ALL SEAT」に戻ります。

放送局名一覽

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
〃	〃	釧路	585kHz	
〃	〃	帯広	603kHz	
〃	〃	旭川	621kHz	
STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz	
NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz	
NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz	
〃	〃	札幌	747kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz	
〃	〃	室蘭	864kHz	
STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz	
北海道(AM)	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz
〃	〃	稚内	1,368kHz	
〃	〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
東	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz	
	FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz	
	エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz	
	FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz	
	ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz	
	〃	〃	仙台	82.5MHz	
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	〃	〃	福島	85.3MHz	
〃	〃	青森	86.0MHz		
〃	〃	秋田	86.7MHz		
東	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz	
	〃	〃	山形	540kHz	
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz	
	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz	
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz	
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz	
東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz		
北(FM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz	
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz	
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz	
	関東地方(FM)	インターFM	インターFM	東京	76.1MHz
		FM栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
		放送大学	ホウソウダイガク	東京	77.1MHz
BAY-FM		BAY-FM	船橋	78.0MHz	
FM-FUJI		FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz	
放送大学		ホウソウダイガク	前橋	78.8MHz	
NACK 5		NACK 5	さいたま	79.5MHz	
TOKYO FM		TOKYO FM	東京	80.0MHz	
NHK-FM		NHK-FM	宇都宮	80.3MHz	
〃		〃	千葉	80.7MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
関東地方(FM)	J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz	
	〃	〃	横浜	81.9MHz	
	〃	〃	東京	82.5MHz	
	〃	〃	水戸	83.2MHz	
関東地方(AM)	NHK-FM FM群馬	NHK-FM FMグンマ	さいたま 前橋	85.1MHz 86.3MHz	
	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	〃	693kHz	
	AFN	AFN	〃	810kHz	
	TBSラジオ	TBSラジオ	〃	954kHz	
	文化放送	ブンカホウソウ	〃	1,134kHz	
	茨城放送	イバラキホウソウ	水戸	1,197kHz	
	ニッポン放送	ニッポンホウソウ	東京	1,242kHz	
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz	
	栃木放送	トチギホウソウ	宇都宮	1,530kHz	
中部地方(FM)	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz	
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz	
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz	
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz	
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz	
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz	
	FM長野	FMナガノ	美ヶ原	79.7MHz	
	岐阜FM	ギフ FM	高山	80.0MHz	
	FM石川	FM イシカワ	金沢	80.5MHz	
	中部地方(AM)	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
		NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz
		〃	〃	金沢	82.2MHz
		〃	〃	新潟	82.3MHz
〃		〃	名古屋	82.5MHz	
FM とやま		FM トヤマ	富山	82.7MHz	
FM-FUJI		FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz	
中部地方(FM)		NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
		〃	〃	岐阜	83.6MHz
		〃	〃	長野	84.0MHz
	〃	〃	甲府	85.6MHz	
	〃	〃	静岡	88.8MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンホウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz
	NHK第1	NHKダイ1	新潟	837kHz
	福井放送	フクイホウソウ	福井	864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	〃	〃	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	シンエツホウソウ	長野	1,098kHz
	北陸放送	ホクリクホウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタホウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
静岡放送	シズオカホウソウ	静岡	1,404kHz	
岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz	
NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz	
〃	〃	福井	1,521kHz	
〃	〃	新潟	1,593kHz	
〃	〃	甲府	1,602kHz	
近畿地方(FM)	FM CO・CO・LO	CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	〃	京都	82.8MHz
	〃	〃	大津	84.0MHz
	〃	〃	和歌山	84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	〃	〃	奈良	87.4MHz
	〃	〃	大阪	88.1MHz
FM 京都	α-STATION	京都	89.4MHz	
Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神戸	89.9MHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(AM)	AM KOBE	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	京都	621kHz
	〃	〃	大阪	666kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	〃	1,008kHz
MBSラジオ	MBSラジオ	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	ラジオオオサカ	〃	1,314kHz
中国地方(FM)	KBS京都	KBSキョウト	京都	1,143kHz
	和歌山放送	ワカヤマホウソウ	和歌山	1,431kHz
	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	松江	77.4MHz
	広島FM	ヒロシマFM	広島	78.2MHz
	FM山口	FMヤマグチ	山口	79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	松江	84.5MHz
	〃	〃	山口	85.3MHz
	〃	〃	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	浜田	86.6MHz
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	〃	〃	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	702kHz
	山口放送	ヤマグチホウソウ	広島	765kHz
	山陰放送	サンインホウソウ	米子	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	下関	1,026kHz
	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクホウソウ	広島	1,350kHz
中国地方(FM)	NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	〃	〃	岡山	1,386kHz
	山陽放送	サンヨウホウソウ	岡山	1,494kHz
	AFN	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz
四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松	78.6MHz
	FM愛媛	FMエヒメ	松山	79.7MHz
	FM徳島	FMトクシマ	徳島	80.7MHz
	FM高知	FMコウチ	高知	81.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	徳島	83.4MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
四国地方(AM)	NHK-FM	NHK-FM	高松	86.0MHz	
	〃	〃	高知	87.5MHz	
	〃	〃	松山	87.7MHz	
四国地方(FM)	高知放送	コウチホウソウ	高知	900kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz	
	〃	〃	松山	963kHz	
	〃	〃	高知	990kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz	
	南海放送	ナンカイホウソウ	松山	1,116kHz	
九州地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,152kHz	
	四国放送	シコクホウソウ	徳島	1,269kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz	
	西日本放送	ニシニホンホウソウ	〃	1,449kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz	
	九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
FM中九州		FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz	
FM佐賀		FMサガ	佐賀	77.9MHz	
CROSS FM		CROSS FM	福岡	78.7MHz	
SMILE-FM		SMILE-FM	長崎	79.5MHz	
FM鹿児島		FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz	
FM福岡		FMフクオカ	福岡	80.7MHz	
NHK-FM		NHK-FM	佐賀	81.6MHz	
FM宮崎		FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz	
NHK-FM		NHK-FM	長崎	84.5MHz	
九州地方(AM)	〃	〃	福岡	84.8MHz	
	〃	〃	熊本	85.4MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz	
	〃	〃	北九州	85.7MHz	
	〃	〃	佐世保	86.0MHz	
	〃	〃	宮崎	86.2MHz	
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	〃	88.9MHz	
	九州地方(FM)	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
		〃	〃	鹿児島	576kHz
〃		〃	福岡	612kHz	
NHK第1		NHKダイ1	大分	639kHz	
〃		〃	長崎	684kHz	
〃		〃	熊本	756kHz	
九州地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	熊本	873kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	ミヤザキホウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタホウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンホウソウ	隼人	1,107kHz
	熊本放送	クマモトホウソウ	熊本	1,197kHz
	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	◇	◇	鹿児島	1,386kHz
沖縄 (FM)	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
	◇	◇	宮崎	1,467kHz
	AFN	AFN	佐世保	1,575kHz
	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
AFN-沖縄	FM AFN	◇	89.1MHz	
沖縄 (AM)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	◇	89.1MHz
	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	◇	648kHz
琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz	
ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	◇	864kHz	
NHK第2	NHKダイ2	◇	1,125kHz	

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す。(→9ページ参照) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
CDやMDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。
MDが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベル面を上にし、⇨や▷の表示に従って正しく入れる。 ● すでにMDが入っているときは、MD▲(取出し)ボタンを押して取り出す。
ディスクが出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの読み取りでエラーが発生しています。 →ディスクを入れ直す。または他のディスクを入れて本機が異常でないかを確認する。
CD-R/CD-RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理する。
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確認する。またはアンテナが十分に伸びているか確認する。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「オートアンテナ」コードを正しく接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの出し入れのときは、音声にミュートイングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。
電源が入らない。 (DISPボタンを押すと) 時計は表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 「電源(ACCライン)」のコードが接続されていないため。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音されていないMDを入れたため。 → 録音済みのMDと交換する。
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名、グループ名が記録されていないとき DISPボタンを押したため。
HIGH TEMP	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部の温度が異常に高くなっている。 → CD▲またはMD▲(取出し)ボタンを押したあとラジオに切換えて温度が下がるのを待つ。
NO PRE ADJ.	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。 → お買い上げの販売店にご連絡ください。
EJECT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの取り出しができなかったとき。 → MD挿入口の障害物を取り除きMD▲(取出し)ボタンを押す。
LOAD ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく挿入されなかったとき。 → MDの表面にキズや汚れがないか確認し、入れ直す。
MECHA ERROR IC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵のマイコンが誤動作したため。 → リセットボタンを押す。(→ 9 ページ参照)
NG DISC 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽以外のMD(データMD)を入れたため。 → 音楽が録音されているMDを入れる。
「MD」または 「CD」が点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 → 盗難防止状態を解除する。(→ 19 23 ページ参照)
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

44～45ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス・主な仕様

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モードSP：80分
(MD80使用時) LP2：160分
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクタ×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 40W+40W
(4 Ω 、1kHz)
リア 40W+40W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
：AUX(ϕ 3.5ステレオミニ)
×1

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行148mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行165mm
- 質量：約2.5kg(付属品含まず)
- 本機は、ドルビーラポラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)……………1
- ・ネジ(M5×6mm)……………8
- ・皿ネジ(M5×6mm)……………8
- ・マウンティングプレート(日産車用) ……1

別売りアクセサリ

- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)
- ・MDレンズクリーナー：CL-ML
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)
- ・変換コード：KS-U57

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

☎ (027)252-5145
FAX (027)254-8927
受付時間 10:00～18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>
カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1
☎ (027)254-8926